

平成 22 年 8 月 11 日

千葉大学での A 型インフルエンザ感染情報（第 28 報）

報道されておりますように、世界保健機構（WHO）は、新型インフルエンザ（H1N1）の流行は post-pandemic period（後パンデミック期・回復期）に移行しているとの会見を行いました。

日本並びに千葉県下での流行も、ほぼ鎮静化しているようですが、インフルエンザ自体は患者報告が散見されています。また、千葉県下では、腸管出血性大腸菌感染症・手足口病・流行性耳下腺炎（おたふく風邪）などの感染症が流行しています。

今後も引き続き、感染症対策の基本となる手洗い・うがい・咳エチケットの励行をお願いしたいと思います。

千葉大学の学生・職員が、新型インフルエンザ・A 型インフルエンザ又はこれらのインフルエンザの疑いと診断された場合には、
総合安全衛生管理機構 043-290-2214（ナース室）もしくは
043-290-2219（機構事務室）

info-hsc@office.chiba-u.jp

へご連絡ください。

集団感染や重症患者の発生など、緊急時には、総合安全衛生管理機構 043-290-2214（ナース室）、043-290-2219（機構事務室）、にご連絡ください。また、インフルエンザに関するご相談については、043-290-2214（ナース室）・E メール<info-hsc@office.chiba-u.jp>へご連絡ください。

<注目すべき感染症>

腸管出血性大腸菌感染症

国立感染症情報センターの感染症発生動向調査によると、現在の患者報告数は、2000 年以降、2001 年に次いで 2 番目に多いそうです。千葉市では、重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）の発症例が報告されています。

これからが、この病気が多く発生する季節ですので、手洗いの励行など感染症予防対策のほかに、食肉やレバーの生食を避け十分に加熱する・生肉の調理時の調理器具などの消毒などの食中毒の予防を徹底してください。